

近中四研究センター

公益財団法人日本植物調節剤研究協会
近中四支部 支部長補佐
(近中四研究センター 前所長)
赤澤 昌弘

はじめに

近中四研究センターが所在する岡山県は、北側に中国山地、南側に瀬戸内海と四国山地があり、県南部では年間を通して雨や雪が少なく温暖な気候であることから「晴れの国おかやま」と呼ばれている。また、東西南北に鉄道網と道路網が伸びているため古くから交通の要所となっており、近畿・中国・四国地域のほぼ中央に位置するクロスポイントとなっている(図-1)。

近中四研究センターの歴史・立地・施設概要については2019年の植調誌(第53巻第8号)で岡山研究センターとして紹介しており、詳細についてはそちらを参照していただきたい。本稿では試験研究の概要や周辺の見どころについて紹介する。



図-2 研究センター全景(ドローン撮影)

試験圃場

近中四研究センター周辺は水田地帯のため、水稲作を中心とした試験研究を実施している。立地は7世紀中ごろに干陸化された古い干拓地であり、地域における水田の区割りは基本構造が「10m×100m」と長細い形状である(図-2,3)。海拔は約2.4m、瀬戸内海までの直線距離は約10kmのため、

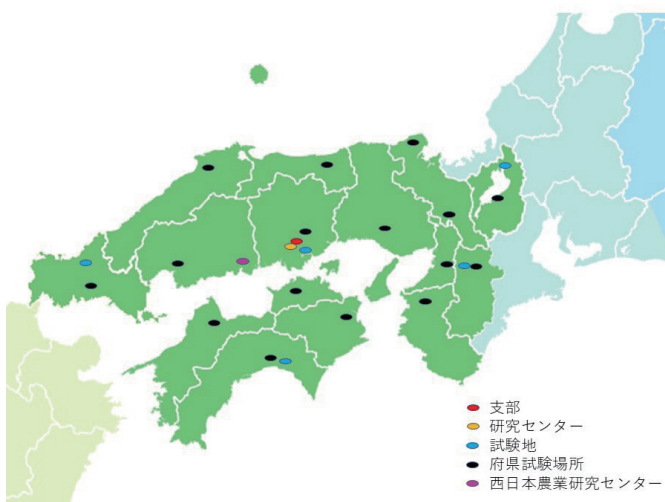


図-1 近畿・中国・四国地域における試験実施場所の配置(2024年度)

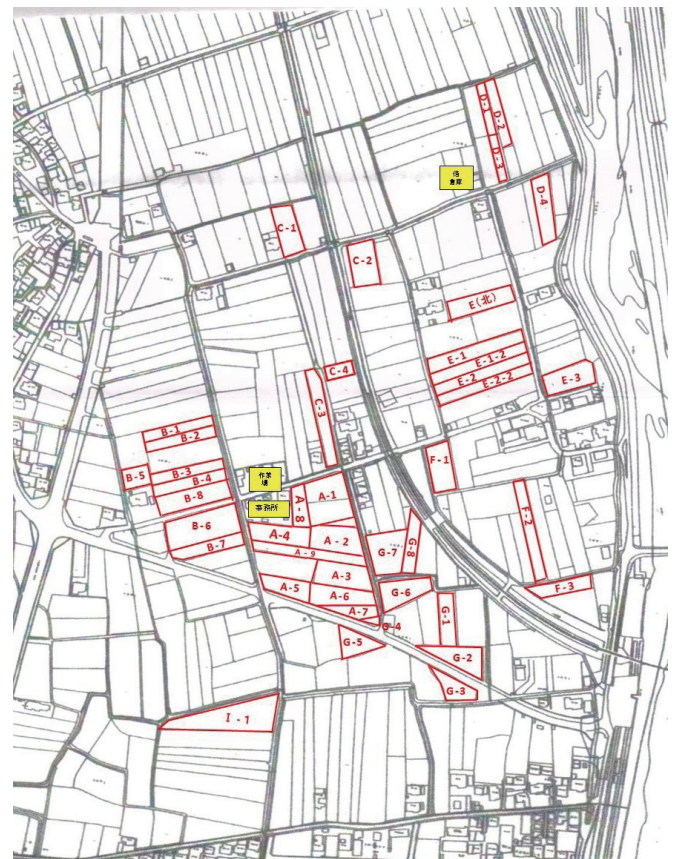


図-3 研究センター試験圃場配置(2024年度)



図-4 研究センター事務所

地域内での農業用水の自然な流れはほとんど見られない。稲作シーズンの通水時には、水源地（岡山市北区三野の旭川）から各所に設置されている樋門の操作によって、上流の地域から順に水位が上昇する（揚水）ことにより、水田への入水を管理する水利慣行となっている。旧岡山試験地を引き継いで平成30年に完成した事務所（図-4）の周辺で約40筆の水田を借地使用することができ、2024年度は23筆で試験研究を実施した。土性は埴壤土（一部圃場は軽埴土）、水稻品種は岡山県南部で奨励されているヒノヒカリ（中生）とアケボノ（晩生）を供試しており、5月末～6月中旬の移植栽培で試験を行っている。

実施試験の内容

近中四研究センターで実施可能な試験は次の通りである。

1. 2024年度までに実施した試験

- ・水稻除草剤適1試験（図-5,6）
- ・水稻除草剤適2試験（全般）：普通枠、中規模、田植同時処理、水口処理、畦畔、耕起前、休耕田
- ・水稻除草剤適2試験（A-4区分）：アゼガヤ、オモダカ、キシウズメノヒエ、クサネム



図-5 適1試験圃場（2024年6月5日）

- ・水稻除草剤適2試験（B区分）：乾田直播栽培（岡山西大寺試験地が開設されるまで）
- ・水稻生育調節剤試験：健苗育成、登熟向上、倒伏軽減
- ・緑地管理除草剤試験
- ・冬作除草剤試験：水稻刈跡、水田畦畔
- ・作物残留試験：GLP, 非GLP
- ・土壌残留試験

2. 2025年度から実施を予定している試験

- ・水稻除草剤適2試験（A-4区分）：ヒレタゴボウ

3. 実施を検討できる試験

- ・いぐさ：一昔前の岡山県は「いぐさ」の一大産地であった。岡山試験地時代に除草剤適用性試験を実施したことがあり、地域の元いぐさ農家の方からの技術継承により、試験を実施できる体制を維持するよう努めている。

周辺の見どころ

観光の定番としては岡山城、後樂園、倉敷美観地区などがあり、「くだもの王国おかやま」のモモやブドウも有名であ



図-6 適1試験圃場（2024年7月4日）



図-7 造山古墳 (岡山観光 WEB より)

るが、ここでは古代の歴史遺跡群を紹介したい。

岡山県には弥生時代の集落・水田遺跡が多数あり、百間川遺跡は有名である。2～3世紀頃になると前方後円墳のルートともされる墳丘墓(双方中円形)である楯築遺跡があり、また「たたら製鉄遺跡」も多数あることから鍛鉄技術も進んでいたとされている。

岡山県は吉備の国と言われているが、古代の吉備王国は現在の岡山県だけでなく、兵庫県西部、広島県東部、香川県島嶼部までを勢力範囲として繁栄した大きな国であり、多くの遺跡が残っている。その中でも古墳は大小様々あり、特に「造山古墳」は5世紀初頭では全国最大規模、その後に築造された畿内の巨大古墳を入れても全国第4位の大きさの前方後円墳(全長約350m)である(図-7)。現在、墳丘に立ち入ることができる古墳としては最大のものであるため調査が進められており、2020年4月には造山古墳ビジターセンターがオープンしてその歴史に触れることができる。また、「鬼ノ城」は歴史書に記録がなく、その歴史がいまだ十分に解明されていない山城であるが、白村江の戦い(663年)で唐・新羅軍に大敗した大和朝廷がその後の防衛拠点として瀬戸内海沿岸に築いた古代朝鮮式山城のひとつであるとされている。現在も発掘調査および史跡整備が進められており、復元された西門(図-8)およびここからの景色は当時を偲ぶことができる。

桃太郎伝説に関わる史跡も多数あり、桃太郎のモデルになったと言われている大吉備津彦命を祭神とする吉備津神社では、鬼のモデルとなったとされる温羅の退治に由来する鳴釜神事が行われている。周辺には桃太郎ゆかりの観光スポットが多くあり、近中四研究センターもその一角にある。このため近隣を走っているJR吉備線の愛称は「桃太郎線」となっている。

近中四研究センターの近くにある岡山県古代吉備文化財センターではこれら県内の埋蔵文化財の調査研究が行われてお



図-8 鬼ノ城 (岡山観光 WEB より)

り、出土品の展示も充実している。近くにお越しの際は、これら悠久の歴史ロマンにも触れてみてはいかがでしょうか。

おわりに

近中四研究センターは近畿・中国・四国地域のセンターとして試験の実施はもちろん、技術開発や問題解決の研究にも積極的に取り組む所存である。2025年4月現在は正職員3名体制であり、地域の方々や随時アルバイトの方々にご協力いただいて試験を実施している。また近中四支部との連携により、地域内の府県への支援も引き続き行っていきたいと考えている。

岡山県ではプロサッカーチーム「ファジアーノ岡山」が昨年のJ2プレーオフの接戦を制してJ1に昇格し、2025年2月15日の開幕戦で勝利をおさめて盛り上がりを見せている。これにあやかって、近中四研究センターも試験研究面で植調協会をさらに盛り上げていくことができるよう、職員一同これからも精進を続けたいと考えている。

なお、2025年4月1日付けで赤澤昌弘は研究センター所長を免ぜられ、大島匡郎(前 植調研究所千葉支所主任研究員)が所長となりました。新体制においても引き続きよろしくお願いいたします。

参考資料

- 赤澤昌弘 2019. 植調岡山研究センターの紹介 - 新事務所の完成に当たり -. 植調 53(8), 18-19.
- ファジアーノ岡山 .https://www.fagiano-okayama.com/club_about/ (2025年2月16日アクセス確認) .
- 岡山観光 WEB, 造山古墳 .<https://www.okayama-kanko.jp/spot/10082> (2025年2月16日アクセス確認) .
- 岡山観光 WEB, 鬼ノ城 .<https://www.okayama-kanko.jp/spot/10755> (2025年2月16日アクセス確認) .
- 岡山県の歴史 (山川出版社) .